

公益財団法人 ながの観光 コンベンション ビューロー



新しい観光の在り方を
模索しながら
長野の魅力
を発信していきたい。

善光寺や戸隠、松代といった全国に誇れる観光資源をベースに、「食」や「土産」といった誘客に結び付く素材の掘り起こしや新たな観光ルートの提案など、あらゆる手法を用いて長野市のプロモーションを推進してきた「ながの観光コンベンションビューロー」。その観光部長を務めるのが、島津仁さんです。

「本来であれば、来年4月には7年に一度の善光寺御開帳が開催され、長野市は日本中、世界中から訪れる多くの観光客で賑わうはずでした。けれども新型コロナウイルス感染症による感染拡大によって、御開帳は2022年に開催延期となってしまいました」と悔しそうに語ります。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言によって、4月半ばから5月下旬まで「観光」は完全にストップ。6月から徐々に動きが見えていますが、予断を許さない状

況が続いています。

「それでもとにかく今できることを、という思いから、長野市では9月から来年3月まで、『ながのエルフェスタ2020』を計画しています。新たに整備された長野市街地の中核にある公園セントラルスクエアを会場に、さまざまなイベントを予定。さらに『まち歩きデジタルスタンプラリー』として、スマートフォンを活用したデジタルスタンプラリーの開催も決定しています。これは、飲食店・土産店や観光地、イベント等を楽しんでポイントをため、ポイント数によって、賞品やクーポンがもらえるという企画です。お子様からお年寄りまで楽しんでいただけますので、ぜひ多くの方に参加していただきたいですね」と島津さん。

イベント会場内には検温機器、消毒液を設置し、運営スタッフはフェイスガード及びマスクを着用して対

応。ご来場いただく皆さまにも、検温、マスク着用、手指消毒にご協力いただき、主催者側も参加される皆さまも、どちらも安心、安全なイベントとなるよう配慮しています。この秋は、感染対策を万全にして長野を楽しんでみませんか。

(取材日/8月7日)

秋の紅葉が美しい
長野市散策に
ぜひお出かけください。



観光部 部長
島津 仁さん



写真はイメージ

長野デザインウィーク in 松代
10/30(金)~11/3(火・祝)



©善光寺

長野デザインウィーク
善光寺イルミネーション
12/5(土)~12/13(日)



池水に映り込む「逆さ紅葉」が美しい戸隠鏡池 見頃10月上旬~中旬



「ながのエルフェスタ2020」は、コロナ禍における長野の皆さまや観光客の皆さまを元気づける「応援」がコンセプトとなっています(感染状況によっては内容の変更、中止となる場合があります。詳細は以下のホームページをご確認ください)。



公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー
〒380-0835
長野市新田町1485-1長野市もんぜんぶら座4階
TEL: 026-223-6050
<https://www.nagano-cvb.or.jp/>